

◎ニトロールR カプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】硝酸イソソルビド isosorbide dinitrate 【分類】長時間作用型硝酸イソソルビド製剤

【単位】◎20mg/Cap

【常用量】40mg/日

【用法】分2

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1,3,6)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (3,12)

【特徴】長時間作用型拡散徐放製剤。虚血性心疾患に対する治療、特に強心発作の緩衝維持効果が高い。静脈容量血管を拡張させ、静脈還流を減少させ、左室容量を減じ、心筋酸素消費量を減少する。冠攣縮も緩解する。

【主な副作用・毒性】頭痛、紅潮、熱感、胃腸障害など

【吸収】硝酸イソソルビドの吸収は90%以上 (11)

【F】22% (13) 20~60% (15)

【tmax】徐放製剤では親化合物は検出されず、2-mononitrate は2.8hr、5-mononitrate は5.1hr (13) 0.07~0.15hr (15) 【Cmax】20mg 徐放製剤を単回経口投与後のCmaxは親化合物は検出されず、2-mononitrate は28nM、5-mononitrate は175nM (13)

【代謝】肝で活性を持つ2-mononitrate、5-mononitrate に代謝される。親化合物にも活性あり (13)

【排泄】尿中未変化体排泄率1%以下 (12,13) 99%が代謝産物として尿中排泄 (1) 【CL】2450mL/min (10) 25mL/min/kg (15) 46mL/min/kg、肝硬変で低下、慢性投与により低下 (13) 【非腎 CL/総 CL】100% (10)

【t1/2】10~30min (1) 平均1hr (35min~2hr) (11) 0.7hr、慢性投与により延長 (13) 0.6~2hr (12) 【透析患者のt1/2】10~30min (1)

【蛋白結合率】16~28% (1) 30%以下 (11) 32~41% (15) 28% (12,13)

【Vd】1.5L/kg (10) 100~600L/man (11) 1.8L/kg (15) 3.1L/kg (13) 2.2~8.6L/kg (12)

【MW】236

【透析性】除去率7% (15) Vdが大きく効率的には除去できない (5)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない 【O/W係数】20.6 (1) 【pKa】解離しない (1)

【相互作用】本剤とPDE5阻害剤、sGC刺激剤との併用で降圧作用が増強し、過度に血圧を低下させることがあるため併用禁忌 (1)

【備考】ニトログリセリンや硝酸イソソルビド等の投与は上部消化管出血のリスクを減少させるという報告がある (N Engl J Med 343: 834-839, 2000)

【更新日】20141227

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。